

第4回

まちづくりキャンプ in 川越・霞ヶ関

まちの価値を高め、
変化を作り出す3日間

令和元年

11/30^土・12/7^土・8^日

肥料 木

受講料

無料ただしパーティー参加費 6,000円 必須

※現地までの交通費、現地での宿泊費は受講生ご自身でご負担ください。

会場

霞ヶ関北公民館
(川越市的場北1-18-6)

まちづくりキャンプは、リノベーションという手法を通じて、
川越の過去の歴史から未だ見ぬ未来を読み解き、
新しい価値を生み出す事業をプランニングし、
実践につなげていく場です。



本気で考え、学び、アクションする方の参加をお待ちしています！

蔵造りの古き良き街並みが立ち並ぶ一大観光地・川越。多くの観光客が訪れていますが、川越の真の魅力は、まちの人が生き生きと楽しく暮らしている日常の姿。まちなかに眠る価値を再発見し、川越の豊かな日常を楽しむためのコンテンツを見出し、事業として形にしていって実践型のキャンプを開催します。第4回となる今回の舞台は霞ヶ関北エリア。中心部とは街並みも抱える課題も異なり、高齢化や空き店舗の増加、事業後継者不足といった問題が迫っていますが、そのエリアだからこそできる新たな変化を生み出して行くプログラムを行います。昨年開催した第3回まちづくりキャンプでは、

霞ヶ関北エリアに新たな空間“38℃”が誕生し、少しずつ新しい人の流れも生まれ始めています。3日間という短期間ですが、エリアの定義、コンセプトや企画の作り方、事業計画や事業収支の考え方、プロモーション等について総合的に学ぶことができます。キャンプ開催後は提案したプランのブラッシュアップを経て、最終的にはオーナーへ提案し、実事業化に向けて進んでいきます。また、今回は土日のみ・2週連続での開催。これまで仕事の都合で参加が難しかった方もご参加いただきやすくなっています。本気で考え、学び、アクションする方の参加をお待ちしています！

リノベーションプランニングコース 定員:16名

市内の具体的な空き家・空き店舗・空き地等を舞台にし、まちの新しい魅力となる事業を構築する。エリアの課題、状況を明らかにした上で、コンセプト・事業企画・リーシング計画・事業収支計画・PR戦略を含めた具体的なプランニングを行う。

日時: 令和元年

11/30(土)・12/7(土)・8(日)

講師紹介

スケジュール SCHEDULE

1日目	開校式、ガイダンス、レクチャー、対象物件・エリア調査、グループワーク、オープニングパーティ等
2日目	グループワーク、レクチャー等
3日目	グループワーク、成果発表会、閉校式、クロージングパーティ等

まちづくりキャンプ開催中のレクチャー、また最終日の成果発表会は一般公開ですので、どなたでも参加いただけます。是非お越しください。

会場:霞ヶ関北公民館(埼玉県川越市の場北1-18-6)

11月30日(土)

- 10:00-11:00「エリアリノベーションのこれから」
馬場正尊(株式会社オープンエー 代表取締役/公共R不動産ディレクター)
- 17:30-18:30「欲しい暮らしはわたしたちでつくる～いぶんとこなるまちづくり～」
小嶋直(co-designstudio & つなぐば家守舎代表)

12月7日(土)

- 9:30-10:30「違和感をアクションに変えていく」
追沼翼(OF THE BOX inc. 代表/Day and inc. 代表)
- 17:30-18:30「心が求める生き方を～みんなで作るまちづくり～」
荒木牧人(株式会社80%代表)

12月8日(日)

- 15:00-16:30「まちづくりキャンプ成果発表会」

受講資格

リノベーションやまちづくりなどに興味があり、自ら実践者となってエリアの価値を上げていくアクションを起こす意思のある方。全日程に参加できる方(オープニング&クロージングパーティを含む)。経験は不問(学生も可)。応募多数の場合は選考のうえ決定させていただきます。

申し込み方法

申込用紙に必要事項をご記載のうえFAX・郵送、または川越市HP申し込みフォームまで。

申込用紙:川越市HP、産業振興課窓口

応募締切:10月31日(土) 必着

会場:霞ヶ関北公民館(川越市の場北1-18-6)

受講料:無料ただしパーティ参加費(必須)で6,000円

※現地までの交通費、現地での宿泊費は受講生ご自身でご負担ください。

持ち物:PC・参加費・筆記用具など

その他、テザリング可能端末、ポケットWi-Fi、デジタルカメラについては、可能な限りご持参ください。



馬場正尊 まちづくりキャンプディレクター

株式会社オープンエー/公共R不動産

1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂で博覧会やショールームの企画などに従事。その後、早稲田大学博士課程に復学。雑誌「A」の編集長を経て、2003年OpenA Ltd.を設立。建築設計、都市計画、執筆などを行う。同時期に「東京R不動産」を始める。2008年より東北芸術工科大学准教授、2016年より同大学教授。建築の近作として「観月橋団地(2012)」、「道頓堀角座」(2013)、「佐賀県柳町歴史地区再生」(2015)など。近著は「PUBLIC DESIGN 新しい公共空間のつくりかた」(学芸出版、2015)、「エリアリノベーション 変化の構造とローカライズ」(学芸出版、2016)



小嶋直 チューター

コーデザインスタジオ 代表/
つなぐば家守舎株式会社 代表取締役

2018年6月に埼玉県草加市でつなぐば家守舎を設立し、子連れで働けるシェアアトリエ「つなぐば」を運営。今後、同施設の他のエリアの工事とともに近隣エリアのエリアリノベーションを計画。個人では「暮らしをつくる建築事務所」として、埼玉県川口市の「KAWAGUCHI SHINMACHI(以下シンマチ)」という元植木屋の敷地内でそれぞれのオーナーがセルフリノベーションしたアトリエ&ショップの一角で活動。最近ではシンマチとして宮代町の地域おこしイベント「トウブコフェスティバル」の企画運営に携わるなどソフト、ハード面の両方での活動も行う。



追沼翼 チューター

OF THE BOX 代表/
郁文堂書店 TUZURU ディレクター

クラウドファンディングで100万円以上の支援を集め、山形の歴史的書店を郁文堂書店を再生。シネマナビや選書合宿の企画運営を行う。また新しい町の運営ツール山形ヤタイの企画・運営、駐車場への問題提起PARKINGJACK、遊休資産の可能性を探る社会実験シネマ通りマルシェなど様々な活動を行なっている。



荒木牧人 レクチャー講師

株式会社80% 代表取締役

1974年埼玉県ふじみ野(旧上福岡)市生まれ。施工会社、設計事務所勤務を経て、2013年荒木牧人建築設計事務所(現:maoo)設立。同時期にひよんなことから地域の自治会長になり、そこでの経験を元に第3回リノベーションアイデアコンペに応募。優秀作品賞を受賞。その後、プロフェッショナル・リノベーションスクールでの学びを終え、地元で実践開始。2016年12月、株式会社80%を設立。2017年6月、第1号案件「すずのや おやさいとくだものとお酒と」[gin coffee 大工町店]、2018年2月に第2号案件「coworking space ダイクマチ」をDIY中心に施工し、運営開始。現在も様々なエリア・リノベーション等を展開中。

主催:川越市 企画運営:川越市/株式会社オープンエー

問い合わせ:川越市産業振興課 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 TEL.049-224-5934(直通) FAX.049-224-8712

川越エリアリノベーションfacebookページ: <https://www.facebook.com/kawagoearearenovation/>